

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	中山間地域研究センター	氏名	田中壮一
派遣先 団体名	頓原公民館		
<p>① 研修の日時</p> <p>平成30年7月6日(金)18:00～21:00 …… イベント準備、健康づくり 平成30年7月10日(火)19:00～21:00 …… 通学合宿「どんぐりデイズ」(一日目) 平成30年7月13日(金)17:00～22:30 …… 通学合宿「どんぐりデイズ」(四日目) 平成30年7月26日(木)10:00～12:00 …… はない茶屋 平成30年8月24日(金)10:00～22:00 …… とんぼら探検隊</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>(1) イベント準備、健康づくり【7/6】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者中心のメンバーにより、8/12に「とんぼら探検隊フェス」(スポーツイベント)の開催を企画されており、これに向けた話し合いや、プロモーションビデオの撮影などを行った。運営補助を行うとともに、一参加者として準備に加わった。 並行して、健康づくり等を目的に開催された、ボルダリングと巡回ラジオ体操(8/16頓原地区で開催)に向けた練習会に参加した。 <div data-bbox="1141 974 1417 1265" data-label="Image"> </div> <p>(2) 通学合宿「どんぐりデイズ」【7/10・13】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月10日(火)～14日(土)の4泊5日の日程で開催された通学合宿「どんぐりデイズ」に参加し、運営補助を行った。どんぐりデイズでは、小学3年生以上の男女10名程度を対象に、公民館がある拠点複合施設において生活体験(炊事・洗濯等)を行いながら通学。極力大人の手助けを避け、自立心養成・生活技能の習得を目的に開催され、今回で59回目の開催となる。 一日目(7/10)は、夕方19時に集合。送りに来られた親御さんも含めて、グループゲームやオリエンテーションを行い、通学合宿の目的や過ごし方などを確認した。 四日目(7/13)は、翌日が土曜日で学校がお休みのため、バーベキューやお楽しみイベント(肝試し)等を実施。準備や運営に携わった。 <p>(3) はない茶屋【7/26】</p> <ul style="list-style-type: none"> はない茶屋に参加し、運営に携わる有志の方や参加者からお話を伺った。はない茶屋は、頓原公民館の呼びかけで平成26年に始まった地域のお茶飲み場で、近くに住む有志がお茶口を準備し、毎回20名程度が参加。頓原地域だけでなく誰でも利用でき、毎月第2・第4木曜日の午前10時～12時までの1日2時間限定で開催されている。 			

(4) とんばら探検隊【8/24】

- ・ とんばら体験隊は、隊員登録をした児童を対象に、8月～翌年7月まで毎月1回、工作や商売体験、調理体験等に参加する児童体験活動。
- ・ 今回の研修では、現在の21期生と次期22期生の合同キャンプに参加。活動の中心は段ボールの家づくりで、防災の視点を意識しながら、四班に分かれて避難所を想定した段ボールハウスを作り、夜はそこで宿泊した。その他、日中には近くの頓原川での川遊び、夜には地域の地蔵祭りへの参加や天体観測等を行った。



③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

「何かを手伝うというより、一参加者として公民館の様々な活動に触れてほしい」、との公民館長の石川さん、公民館主事の景山さんの言葉で始まった短期派遣研修。その言葉のとおり、今回研修させて頂いた5日間は、いずれも利用者の年代や目的などが全く異なる、バラエティーに富んだものでした。参加者として活動に加わせて頂いた部分が多く、却ってお手間をおかけした点もあったと思いますが、温かく受け入れて下さった頓原公民館の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。5日間の研修を通して、次のとおり公民館活動等について考える機会を頂きました。

(1) 放課後みたいな場所

今回の研修を通して印象的だったのは、公民館の“敷居の低さ”でした。各研修日には、その日の活動に参加される方だけでなく、常に誰かが公民館を利用されていました。例えば、研修三日目は小学生の通学合宿「どんぐりデイズ」が行われましたが、8/12のイベント準備にあたる若者メンバーの姿もありました。夕食時にはバーベキューをしましたが、彼らも公民館の方に促されて小学生の輪に加わり、交流が生まれていました。

バーベキューを囲みながら、若者メンバーの一人が、「ここは放課後のような場所。学校を卒業してしまうと、こういう場所ってなかなか無いです。」と言っておられたのが印象に残っています。児童や高齢者に利用されているイメージが強かった公民館ですが、若者も含めた多様な世代が集い、交流が生まれる場になっていることが分かりました。

ただ、こうした場は自然発生的に生まれるものではなく、裏には公民館の皆さんの様々な工夫(しかけ)や配慮があることも分かりました。研修一日目のボルダリング(健康づくり)などは、一見するとただのレクリエーションにも思えますが、若者世代が集まりやすい終業後の時間帯(18:00～)を狙って、関心が高いスポーツ分野により健康づくりを行うことで、若者世代が公民館に気軽に集える環境をつくることを目指しておられます。18時からの開催ということで、必然的に勤務時間も長くなります。「若者世代のニーズがその時間帯にあるなら、そこに合わせればよい。」(公民館主事さん)という前向きな意識・姿勢があるからこそ、気軽に集まることができる“放課後みたいな場所”が生まれているように思いました。

(2) 子供も大人も成長

研修二日目、三日日には、小学生の通学合宿「どんぐりデイズ」に参加しました。通学合宿は他の地域でも行われているようですが、頓原公民館の特徴は、キャンプ気分で終わらないよう4泊5日と比較的長期間の日程になっていること、また自立心を養成するため、極力大人の手助けを避けている点にあります。合宿期間中は、食事や洗濯等を自分たちで行ったり、地域のお宅にもらい湯に行ったりと、貴重な成長の機会になっているように思いました。

成長の機会は、関わる大人の方にもありました。通学合宿の初日(研修二日目)には、グループゲームやオリエンテーションを行い通学合宿の目的等を確認しましたが、この進行を任せられたのが、ファシリテーションのスキルを磨きたいと考えておられる地域の女性の方でした。公民館主事さんが適宜フォローされながら、アイスブレイクにより児童の緊張を解きつつ、通学合宿へ導入を担っておられました。勿論、公民館の方で全ての進行を担うこともできたと思いますが、このように運営側に関わってもらふことで、大人側の成長にも繋げておられるように感じました。

(3) 息の長い公民館活動

研修一日目のイベント準備で顔を合わせて以来、研修期間を通して何度もお会いした若者メンバー。その中には、研修五日目に参加した「とんぼら体験隊」のOBの方もおられました。現在は大学生になっておられます。

とんぼら体験隊は、小学生を対象として一年間に毎月1回のペースで体験活動を行うもので、現在の隊員が22期目となります。つまり、始まったのは22年前ということになります。こうした活動を体験した児童の中から、時を経てまた公民館を訪ね、そして自分たちでイベントを企画する方が現れ始めていることに驚くとともに、公民館活動の息の長さを感じました。

一回の体験により、児童が劇的に変化することは少ないと思います。それ故に、公民館の皆さんは良い意味で肩の力を抜いて、着実に歩み(活動)を続けておられるように感じました。研修二日目、三日目に参加した通学合宿「どんぐりデイズ」も、これまでに59回を数えるに至っているそうです。参加した(かつての)児童が現在どうしておられるのかは分かりませんが、こうした体験を通して、自分たちの暮らす頓原地域について一つでも二つでも思い出が胸に刻まれているのは間違いないのではないのでしょうか。

冒頭のとんぼら体験隊OBの方も、「小学1年生でとんぼら体験隊に参加した時のことは憶えています」、と話してくれました。公民館はこうした“循環が生まれる場”にもなっていることが分かりました。

研修を終えて、私自身が子育て中ということもあり、子供との関わり方が一番記憶に残りました。頓原では、学校・家庭の他に、地域の中にもう一つ子供たちの居場所がありました。学校や家庭が大切なことは言うまでもありませんが、地域の人や行事との関わりの中で成長したり、自分たちが暮らす場所への愛着が生まれる面もあると思います。頓原においては、公民館がそうした場づくりに大きな役割を果たしておられるのではないのでしょうか。

また、実際の活動にあたっては、そこに暮らす方々がどのように感じられるのか、また協力して一緒に取り組める方がいないかなど、常にアンテナを張っておられます。仕事を進めていくうえで、こうした点を意識することの大切さを改めて教えて頂きました。

終わりになりましたが、お忙しいなか研修を受け入れて下さった頓原公民館の皆様へ、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成31年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。